

令和6年度 シニアクラブ袋井市との
意見交換に基づく提言書

令和7年2月

袋井市議会

広報広聴委員会

1 はじめに

市議会では、議会の活動状況を市民に報告するとともに、市政の諸課題に対処するため、市民の皆さんと議員が意見及び情報を交換する議会報告会を平成25年度から開催している。

また、令和元年度からは、若い世代の意見を聞き、まちづくりの参考にすることや、議会に関心をもってもらうことを目的に、市内高校生との意見交換会を実施している。

本年度は、全世代型の議会報告会を目指し、新たに「シニアクラブ袋井市」との意見交換会を開催した。本提言書は、シニアクラブの活動の継続やリーダーの確保など、皆さんが抱えている課題について意見交換を行い、その結果を受けて提言をするものです。

2 意見交換会概要

(1) 開催場所、日時等

日 時	開催場所 実施方法	参 加 者	議 員
11月2日(土) 午前9時～午前11時	袋井市議会 第1委員会室 グループワーク	役員、常任理事17人	10人

(2) 開催内容

ア 市議会の活動報告

議長が本年度の議会活動の報告を行った。

イ 意見交換

2つのテーマについてグループ割を行い、意見を出し合いまとめを発表した。

<テーマ1>

自発的に活動しているグループ活動の継続について

<テーマ2>

高齢者グループのリーダーの確保について

3 結果

いずれのグループも同じような課題感を持っており、その課題解決方法はどちらのテーマにも通じるものであった。

4グループで出された意見（課題とその解決方法）は次のとおりである。

●具体的な意見（テーマ1・テーマ2）

(1)テーマに関する課題（主なもの）

<社会情勢について>

- ・定年年齢の変化等社会情勢により新規加入者が激減している。
- ・団体活動より個人活動へ志向が向いている。
- ・気楽にできるグループに参加し、自由な発想で活動したい。
- ・まだシニアに入る年ではないと言われる。
- ・地域活動に参加していないシニア世代が7割いる。

<活動について>

- ・魅力的な活動が少ない。
- ・外から見てどんな活動をしているかわからない。
- ・年の差が大きく活動制限がある。

<コミュニケーション>

- ・役員など既存の会員が新規加入者を募っても、そもそも会話が成立しない。

<役員について>

- ・役員のなり手がいない、役を受けたくない。
- ・リーダーの仕事が多く役員のなり手がいない。
- ・役員の任期が定まっていない。
- ・責任を敬遠し役職をやりたくない。
- ・事務仕事を任せられ負担に感じる。

<組織について>

- ・シニアクラブの位置づけがよく分からない。
- ・若い人が入らないのでシニアクラブの活性化に繋がらない。

＜その他＞

- ・参加すると免許返納しにくくなる。
- ・高齢なので公会堂までいくことが出来ない。
- ・予算が不足している。

(2) 課題の解決方法（主なもの）

＜活動について＞

- ・加入促進のためには、活動の簡素化や内容の多様化を図り、若者との交流プログラムの導入などが効果的である。
- ・気楽にでき負担を感じさせない雰囲気醸成することが効果的である。
- ・コミセン祭りなどのイベントに積極的に参加する。
- ・各グループ間の情報交換や加入促進のための協力体制を作る。
- ・同年輩の方に参加を促す。
- ・笑顔になれる講演を開催する。

＜組織・役員について＞

- ・規約の見直しを行う。
- ・シニアクラブの位置付けを明確にし、勧誘活動を積極的に行う。
- ・役員手当など特典を付与する。
- ・役員の仕事内容を明確にする。
- ・コミュニティセンターを中心にそれぞれの地域で活動できるクラブにする
- ・総会等の事務作業の負担軽減を図る。

＜広報について＞

- ・各シニアクラブの活動を見学・体験してもらい加入者を増やす。
- ・行政もシニアクラブの活動内容を積極的に情報発信する。
- ・若いうちからシニアクラブに関心を持ってもらう。

＜移動手段について＞

- ・公共交通の充実（ダイヤや路線）を図る。
- ・手軽に活動場所に行けるよう地域のボランティア運転手を募集する。

4 課題解決のための提言

グループごとの意見交換で出された意見を参考に、今後もシニア世代の皆さんの活動が持続するためにできることについて次のとおり提言する。

(1) 加入促進のための体制づくりについて

参加しやすい活動を増やすため、各クラブ間で情報交換を行い、現状の活動内容を見直すことが必要である。そのために、コミュニティセンター単位で地域内のシニアクラブ間が連携し、地域のシニア世代の参加を促す体制づくりを検討されたい。

(2) 地域での役割や位置付けの明確化について

シニアクラブの役割や在り方を明確にした上で、地域のシニア世代の参加促進に繋がるよう、まちづくり協議会の組織の中での位置付けを検討されたい。

(3) シニア世代の移動手段の確保について

シニア世代が運転免許を返納しても、地域の活動に参加できるよう移動ニーズを把握するなど、利便性の高い移動手段の確保を検討されたい。

(4) 世代間の交流促進について

世代間の交流を深めることで、つながりを強化し、会員の加入促進とリーダー養成につなげるため、若い世代のボランティアとシニアクラブとのマッチングの支援を進められたい。

5 おわりに

シニアクラブは、地域社会においてシニア世代の社会参加を促進することで健康を維持し、また、コミュニティの絆を強化する重要な役割を担っている。

シニアクラブとして、新たな担い手の確保や、組織運営のために努力をされているところであるが、シニアクラブが活発に活動し続けるためには、市として更なる支援と連携が不可欠である。

今回の意見交換での「シニアクラブ袋井市」のみなさんのご意見を参考に、今後も、シニア世代の皆さんが健康寿命を延ばし、健康で楽しく充実した生活

が送れるよう、「シニアクラブ袋井市」の担い手不足の解消や維持継続に向けた検討が重要である。